

平成21年10月13日（火）  
市町村会館にて

今こそ、  
地域で総合的な自殺対策の推進を  
トップの理解と行動が自殺対策を動かす

秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長  
本 橋 豊

いのちを守り、いのちを支える全国フォーラム  
（平成21年9月26～27日）



- 自殺対策を官民学で考える
- 厳しい社会状況の中、自殺者数が増加傾向にある中で、総合的な自殺対策の推進の必要性が確認された

## 自殺対策に求められるもの

謙虚さ  
やさしさ  
共感すること

**そして。行動すること**

## 自殺は防ぐことができるのですか？

- すべての自殺を防ぐことはできません。
- しかし、防ぐことのできる自殺はたくさんあります
- **経済的困難による自殺**: 誰でも社会的に追い込まれれば自殺のリスクが高まります。
- **うつ病などの病気の関与が強い自殺**: うつ病などの精神疾患では自分の意志とは無関係に自殺衝動が高まります。



**あなたは自殺問題について  
偏見を持っていませんか？**

- 政治家の自殺は決して珍しくありません。
- しかし、覚悟の自殺であるから、精神的に弱くなったから、と考えるべきではありません。
- 社会的にエリートであり、精神的にも強いと考えられる政治家も、社会的に追い詰める状況では、うつ状態となり、自殺のリスクが高まります。

**自殺するのは弱い人ではありません。**

**うつ病は、精神的に弱い人の病気ではありません。**

**このような偏見を取り除いていく  
ことが社会の果たすべき役割です。**

## 自殺対策基本法 いのちを守る法律の整備

**社会の取組として自殺対策を行う**  
理念を定め  
関係者の責務を規定し  
具体的方策を提示し  
対策を進めていく組織を示す

**自殺対策は健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現が目的です。**

- …、自殺の防止を図り、あわせて自殺者の親族等に対する支援の充実を図り、もって国民が健康で生きがいを持って暮らすことのできる社会の実現に寄与することを目的とする。  
(自殺対策基本法第一条)

## 自殺総合対策大綱における 自殺問題の捉え方

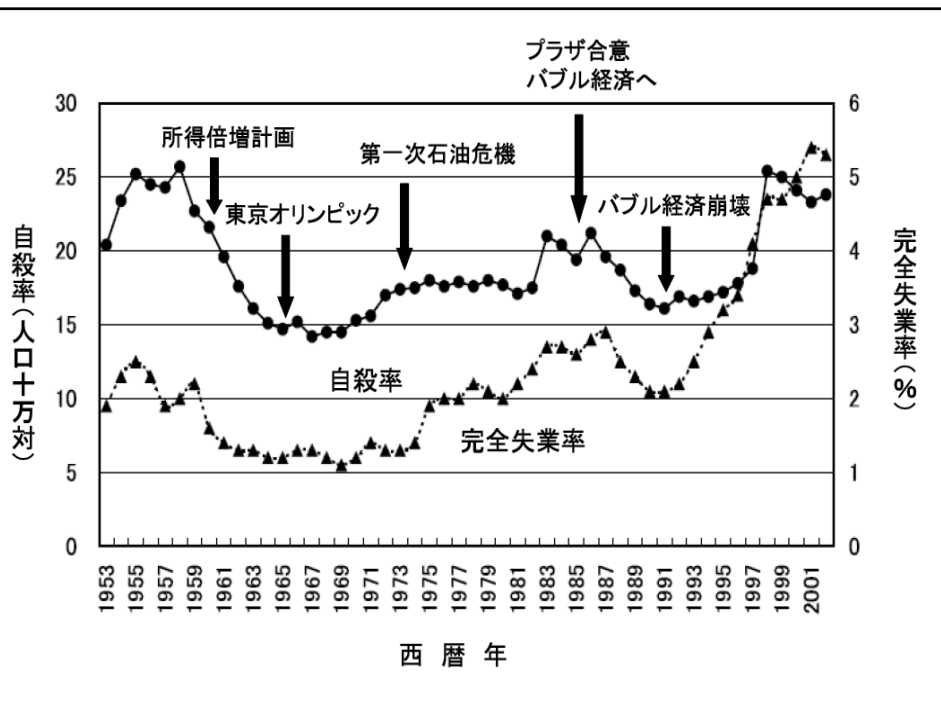
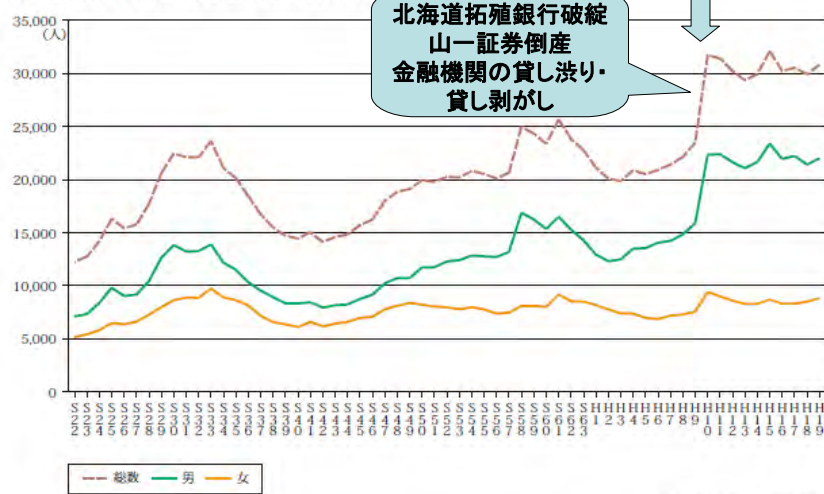
- 自殺は追い込まれた末の死  
個人の自由な意思や選択の結果ではない
- 自殺は防ぐことができる  
社会の適切な介入により防ぐことができる
- 自殺を考えている人は悩みを抱えながらもサインを発している  
周囲の人が早めに気づいてあげることが大切

## 自殺対策基本法に示された対策の項目

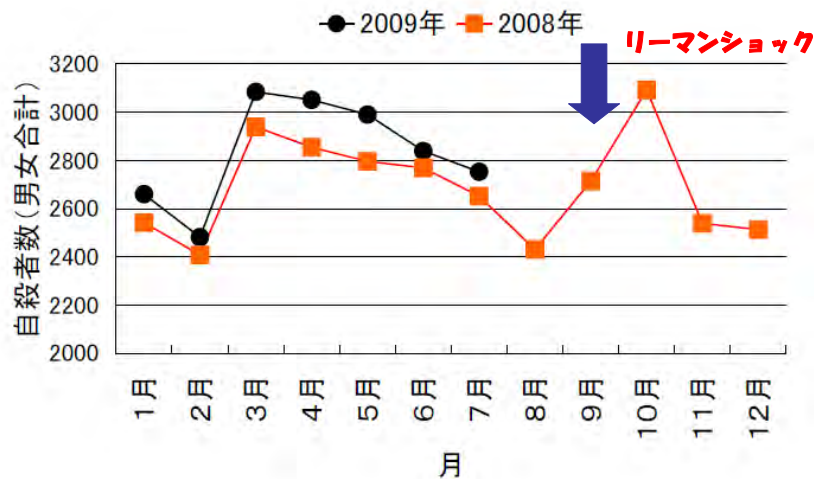
- ① 調査研究等の推進(第11条)
- ② 国民の理解の増進(第12条)
- ③ 人材の確保等(第13条)
- ④ 心の健康の保持に係わる体制の整備(第14条)
- ⑤ 医療提供体制の整備(第15条)
- ⑥ 自殺発生の回避のための体制の整備等(第16条)
- ⑦ 自殺未遂者への支援(第17条)
- ⑧ 自殺者の親族等への支援(第18条)
- ⑨ 民間団体の活動に対する支援(第19条)

# 1998年の自殺の急増は 社会的要因によるもの

[第1-2図] 自殺者数の長期的推移(人口動態統計)



今年の自殺者数は昨年を上回るペースで増加しています(警察庁データ)



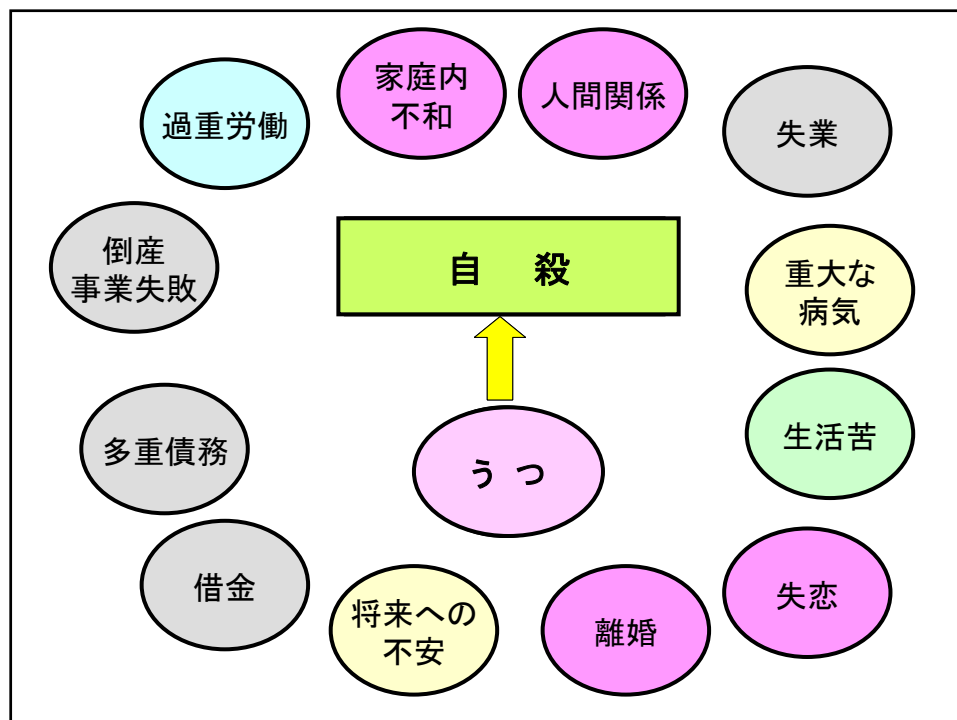
日本の自殺者数は  
年間3万人を超えている

私たちは自殺問題の深刻さに本当に気づいているのだろうか？

3万人とはどれだけの数？

## 年間 3 万人 . . .

- タイタニック号の犠牲者(1912年4月14日)  
1513名  
タイタニック号が約20隻沈没
- 日航ジャンボ機墜落事故(1985年8月13日)  
520名  
日航ジャンボ機が約60機墜落
- 9.11米国同時多発テロの犠牲者(2001年9月11日) 2973名  
テロが約10回発生

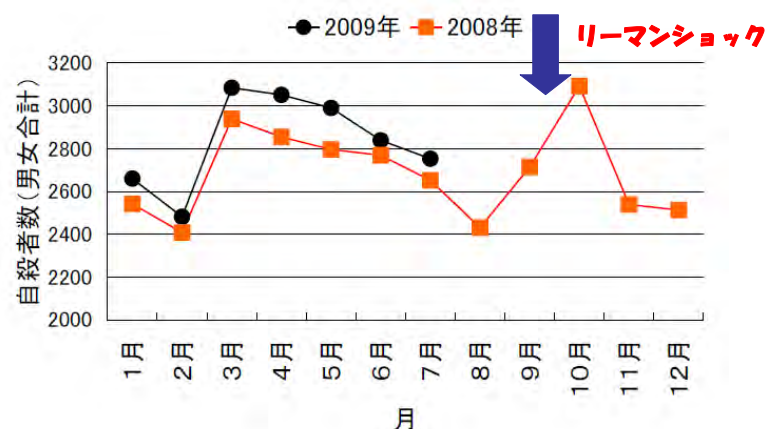




## 自殺の背景要因は複雑であり、 単純な構図では説明できません

- 1998年3月(年度末の決算期)に自殺が急増しました。
- 社会的に困難な状況に追い詰められていった末の自殺が増加したものと推測されています。
- 10年前と同じような社会経済状況の中で、今年は日本全体の自殺者が増加傾向です。

## 昨年9月のリーマンショック以後 日本の自殺者は増加しつつあります



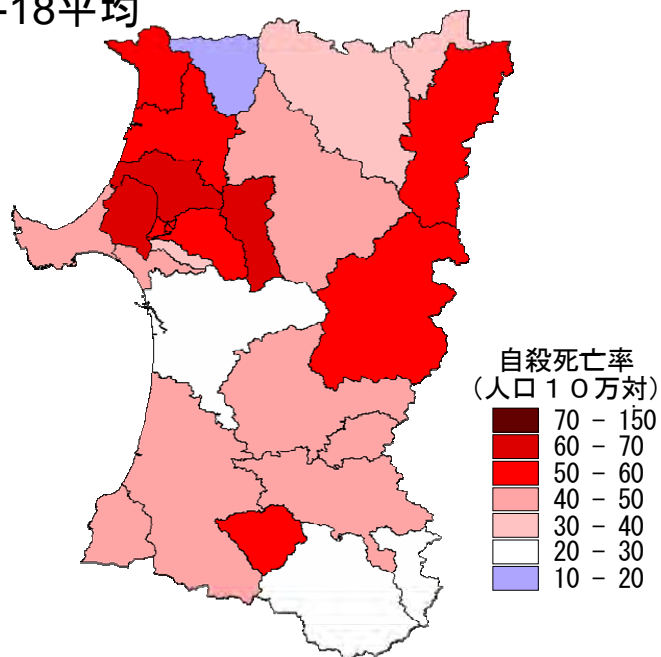
## 蜘蛛の糸の活動 秋田魁新報社（平成21年9月）

秋田市大町3丁目のビルの一角。18日までの10日間、NPO法人蜘蛛（くも）の糸（佐藤久男理事長）が主催する「いのちの総合相談会」が開かれていた。期間中は毎日予約でびっしり。売り上げ不振で多額の借金を背負ったという自営業者や、多重債務からうつになったという女性、「死んで生命保険で借金を返済したい」という手紙をよこした自営業者もいた。

## 秋田県の自殺対策の歩み を知しましょう

2000年から本格的に始まった  
秋田県の自殺対策  
成果は？  
そして、課題は？

H16-18平均



## 秋田県の自殺対策

- ① **始動期(1999～2005年)**: 手探りの中で自殺対策が始まり、啓発普及や支援体制の確立という自殺対策の秋田モデルの基盤が作られた時期である。また、市町村の自殺予防モデル事業が実施され、その成果が見えてきた時期でもある。
- ② **展開期(2005～2006年)**: 市町村の自殺予防モデル事業に成果が認められ、その取り組みを全県的に広げていこうという展開が始まった時期である。
- ③ **充実期(2006年～現在)**: 2006年10月に自殺対策基本法が成立し、国の自殺対策の取り組みが始まり、全国で自殺対策が本格化しはじめた時期である。2007年6月には自殺総合対策大綱が施行され、全国で具体的な自殺対策が広まった。秋田県でも従来の心の健康づくりとしての自殺対策だけでなく、多重債務対策や自死遺族対策などにも重点が置かれるようになった。

22

## 秋田県の自殺予防対策 5つの柱

秋田県健康づくり審議会・心の健康づくり分科会

- 情報提供、啓発
- 相談体制の充実
- うつ病対策
- 予防事業の推進
- 予防研究

地域のネットワーク構築  
関係性の構築

うつ病の知識の増加  
ヘルスリテラシーの向上

住民のエンパワメント  
住民参加

### 何を変えようとするのか



秋田県で作成したバッジ  
自殺予防 心はればれ<あきた>  
またキャラクターは秋田県花のふきのとうです。

23

「世界自殺予防デー」にあたる9月10日（木）、秋田駅「ぽぽろーど」で「自殺予防街頭キャンペーン」が秋田県、秋田市、秋田大学そして民間団体の連携により実施されました。



## 秋田県市町村自殺予防検討会



先月開かれた県の会合で、経済問題に重点を置いた対策の必要性を指摘する秋田大の本橋豊医学系研究科長

- 秋田魁新報社による自殺予防キャンペーン記事
- 紙面一面を使って、自殺予防に関する記事を掲載
- 紙面の下段は、記事の提供をする協賛団体の名前が掲載されている。

- 協働の意味は・・・  
官・民・学の連携



## 秋田県の民間団体の活動 秋田魁新報社「いのちを支える」から



由利本荘保健所で初めて開かれた「アイビーの会」



八峰町の文化交流施設「ファガス」で開かれている交流サロン「しーがる」。住民の笑顔がはじける。

## 秋田市の自殺の実態

■ 秋田県・秋田市

警察署：秋田中央

原因・動機	自殺者数
1 不詳	42
2 健康問題	18
3 経済・生活問題	11
4 家庭問題	3以下
4 勤務問題	3以下
4 その他	3以下

年代	性	職業	自殺者数
1 60～69	男	被雇用者・勤め人	3
2 70～79	男	無職	6
3 40～49	男	被雇用者・勤め人	5
3 30～39	男	無職	5
3 50～59	男	無職	5
3 60～69	男	無職	5
3 70～79	女	無職	5
8 40～49	男	無職	4
9 30～39	男	被雇用者・勤め人	3以下
9		(他17件)	3以下

性	職業	原因・動機	自殺者数
1 男	無職	不詳	20
2 男	被雇用者・勤め人	不詳	12
3 女	無職	健康問題	8
4 男	無職	健康問題	6
5 男	無職	経済・生活問題	4
5 女	無職	不詳	4
7 男	被雇用者・勤め人	家庭問題	3以下
7 男	被雇用者・勤め人	経済・生活問題	3以下
7 男	被雇用者・勤め人	不詳	3以下
7		(他13件)	3以下

無職者 30人  
被雇用者・勤め人 13人

秋田市の自殺者は40～59歳男性の被雇用者が最も多く、  
ついで高齢の無職者が多い



## 能代市、八峰町、藤里町、三種町 (能代警察署管内)

■ 秋田県・能代市 山本郡八峰町、藤里町、三種町

警察署：能代

原因・動機	自殺者数
1 健康問題	46
2 経済・生活問題	22
3 不詳	12
4 家庭問題	8
5 その他	6
6 勤務問題	3以下
6 男女問題	3以下
6 学校問題	3以下

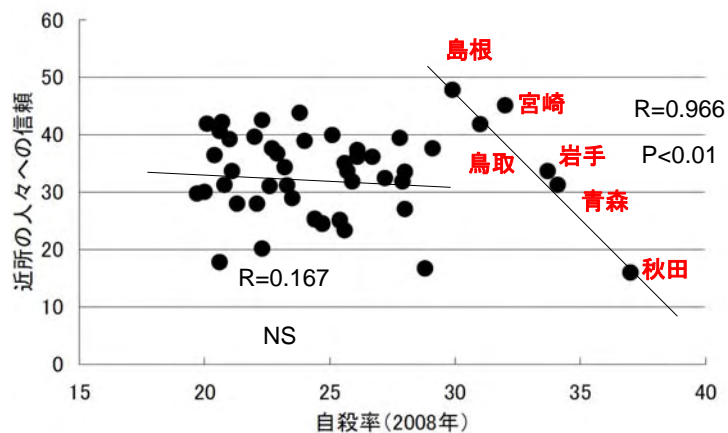
年代	性	職業	自殺者数
1 70~79	女	無職	5
2 50~59	男	無職・家事従事者	8
3 60~69	女	無職	6
3 70~79	男	無職	6
5 40~49	男	被雇用者・勤め人	5
5 60~69	男	無職	5
5 50~59	男	無職	5
5 80~	男	無職	5
9 60~69	男	無職・家事従事者	4
9 80~	女	無職	4

性	職業	原因・動機	自殺者数
1 女	無職	健康問題	21
2 男	無職	健康問題	14
3 男	無職・家事従事者	経済・生活問題	10
4 男	無職	経済・生活問題	8
5 男	無職・家事従事者	健康問題	6
6 男	被雇用者・勤め人	健康問題	4
6 男	無職	その他	4
8 男	無職・家事従事者	家庭問題	3以下
8 男	無職・家事従事者	勤務問題	3以下
8 男	無職・家事従事者	(他16件)	3以下

**無職者 40人**  
**被雇用者 5人**  
**自営業・家事従事者 12人**

**能代警察署管内では高齢女性の自殺が課題**  
**また、50歳以上の者が多く、**  
**無職者および自営業・家事従事者が多い**

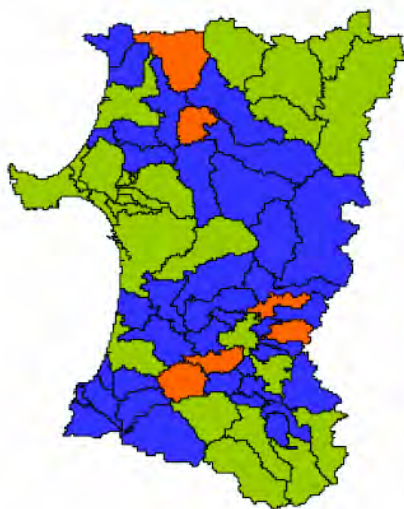
自殺高率県では  
近所の人々への信頼度が低いほど  
自殺率は高い



## 地域の自殺対策の立案にあたって留意すべきこと

- 地域により年齢別、職業別の自殺者の構成が異なります。**(実態をまず把握する)**
- 都市部(秋田市)と郡部(藤里町など)では自殺の実態が異なります。**(一律の対策ではなく、地域の実情に応じた対策の立案する)**
- 地域の自殺対策の推進にあたっては、地域のリーダーが率先して問題に取り組む姿勢を示すことが重要です。**(トップの理解と行動が地域の自殺対策を大きく動かす)**

モデル町と周辺町村の所在



### Setting

#### ●モデル町概要 (6 町)

人口 43 964 (H16)  
(規模 4 435－11 420)  
高齢化率 31.8%

#### ●周辺町村 (36 町村)

モデル町のある 5 医療圏郡部  
(モデル町を除く)  
人口 297 071 (H16)

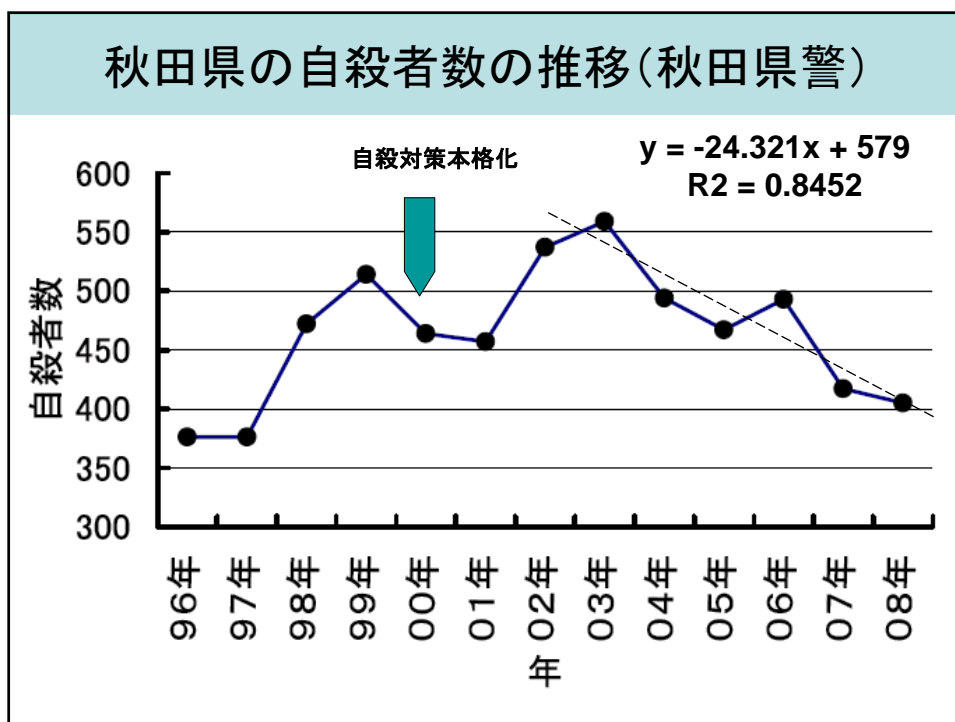
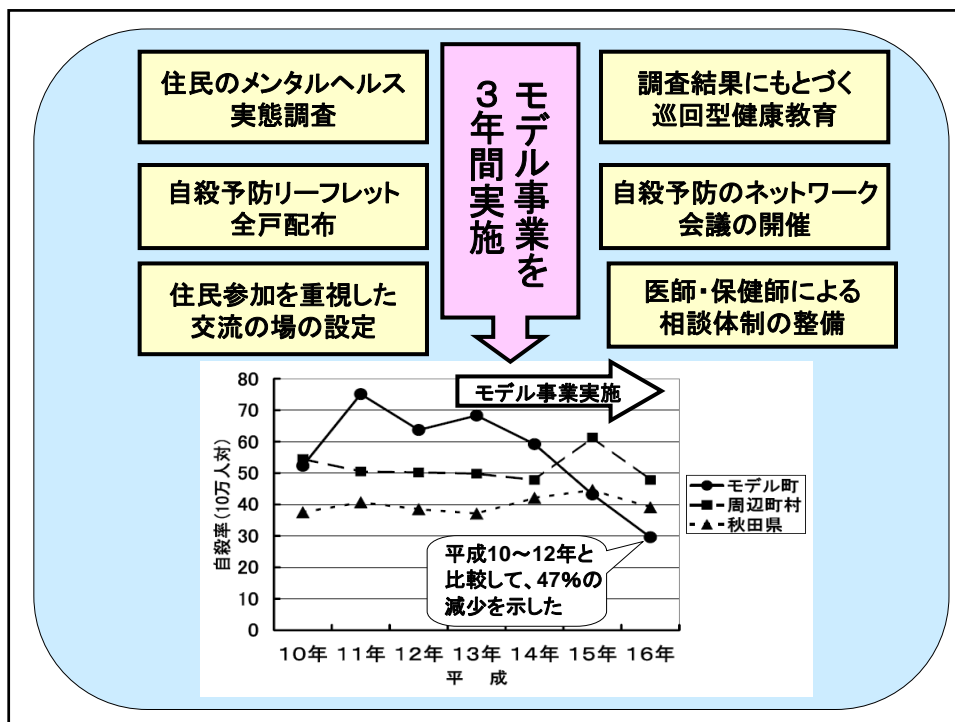
#### ●秋田県

人口 1 159 229 (H16)  
高齢化率 26.2%

### データ

平成10～15年は人口動態統計確定値、平成16年はモデル町の自殺数集計値と秋田県年齢別人口流動調査[速報]、厚生労働省人口動態統計月報年計(概数)を使用。





**総額100億円  
(3年間)**

**地域自殺対策緊急強化基金を  
活用して対策を進めましょう**

**この基金の目的は？  
いかに活用すべきなのでしょう？**

### **地域自殺対策緊急強化基金 (第三次補正予算)**

- 100億円の予算で3年間の地域自殺対策の強化を実施する。
- 都道府県ごとに計画を立て、相談事業、人材養成事業を強化する。
- 有効な地域自殺対策を実施するチャンスである。

## 基金の趣旨は・・・

- 現下の厳しい経済情勢を踏まえ、**追い込まれた人に対するセーフティーネット**として、地域における自殺対策の強化が喫緊の課題。
- 地域の実情を踏まえて自主的に取り組む**地方公共団体の対策**や**民間団体等の活動の支援**により、地域の自殺対策力を強化

そのころは・・・

**民間団体に対する活動に重点的に支援すべし**

## 対面型相談支援事業

- 関係行政機関や民間団体で専門家を活用した自殺対策のための「**包括的支援相談**」を実施するなど相談支援体制を強化する。
- 弁護士、司法書士、社会福祉士等の専門家による、**失業、倒産、多重債務等の相談**について、心の健康相談とともに実施

心といのちを考える会、  
秋田なまはげの会など

蜘蛛の糸や司法書士会、  
県や労働局との連携

## 強化モデル事業

民間団体の優れた取り組みを積極的に支援せよ

- 地域における自殺対策を緊急に強化するための事業

- ①ハイリスク地におけるパトロール活動の支援
- ②一時的避難場所（シェルター）の提供
- ③遺族のための分かち合いの会の運営支援等

東尋坊におけるパトロール活動、  
各地に分かち合いの会（秋田グリーフケア研究会）

- ④その他、地方公共団体が自主的に取り組む事業

## 安全・安心・公正の社会の構築

（安心社会実現会議報告書 平成21年6月15日）

- （1）多様な主体により「公」の実現  
行政、企業NPO、ボランティア

- （2）地域における信頼の再構築

**地域づくりと人々の絆の再構築こそ、  
自殺対策の核心である**

・・・政治の果たすべき役割はここにある

40